

コード	101020201
記入日	H24.6.8

課コード	105
課名	総合政策課
課長名	石田 信明
担当者	川添 有祐

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	新上五島町EV・ITS配備促進協議会運営補助事業
----------	--------------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	2
事務事業コード	1010202	事務事業名称	EV&ITS推進事業	細目コード	1247
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町EV&ITS普及促進事業費補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	新上五島町EV・ITS実配備促進協議会	(対象指標1)	1団体			
(対象2)	電気自動車	(対象指標2)	70台			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・新上五島町EV・ITS実配備促進協議会に対し補助金を支出した。 →急速充電器運営管理費 1,071千円 →ITSスポット運営管理費 357千円 →協議会運営費 271千円	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****
		①	補助金交付件数	1件	100%	
		(達成率分析)	内容を審査し、全額（1,699千円）交付した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・「長崎EV&ITSコンソーシアム」と連携し、協議会が行う低炭素社会実現のための電気自動車の導入事業、ITS（高度道路交通システム）と連動したドライブ観光システムの導入事業等を支援し、本町の観光振興、地域活性化及び教会群の世界遺産登録事業を推進する。	*****	*****	*****	導入実績台数÷ 導入計画台数	*****
		①	EV車リース	17台	100%	
		(達成率分析)	計画どおりEVを導入した。平成23年度末で総台数58台となった。			
		②				
		(達成率分析)	計画どおり設置できた。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	3	3	2	1	1				
	②									
成果指標	① 台	70	58	41	17	17				
	② 箇所	8	7	3	4	4				
総事業費 C (A+B)	千円	5,421	5,421	3,022	2,399	2,399				
直接事業費 A	千円	3,321	3,321	1,622	1,699	1,699				
人件費 B	千円	2,100	2,100	1,400	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	1,400	1,400		1,400	1,400			
	その他	千円								
一般財源	千円	4,021	4,021	3,022	999	999				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	東北大震災以降全国的に省エネルギーの方向に向かっており、本事業の目指す環境保全型観光、エコアイランドの推進は必要であるが、協議会自体に自主財源がないため補助の必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	急速充電器、ITSスポットなどのインフラを安定して使用できる様にする事で、EVでドライブする観光客に対し安心感を与え、リピーターや口コミによる観光客増が期待できる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	ITSスポットから発信するコンテンツを充実することで、世界でも最先端の未来型ドライブ観光を構築し、観光客のさらなる増加が期待できる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	必要最低限の予算対応となっている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	最低限の人員で行っているため削減はできない。

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	低炭素社会実現のための電気自動車の導入と観光ビジョン（環境保全型観光など）との連携でよりよい効果が図られるよう努めていくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。